

カワネズミ

Chimarrogale platycephala

モグラ目トガリネズミ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

県内では、主に加賀地域や白山地域の河川源流域に分布する。日本固有種。

形態

トガリネズミの仲間で、水辺に適した手足を持つ。指の剛毛と尾に生えた長い毛がある。門歯はカギ状に曲がっている。体重約25～63g、頭胴長111～141mm、尾長82～117mm、後足長23～29.4mm(阿部ほか、2005)。

国内分布

本州、九州に分布する。

県内分布

県内にはこれまで旧白峰村市ノ瀬、小松市上大杉の2件の標本と聞き取り調査を併せた分布は11メッシュであったが(林, 1999)、その後、能美市(辰口)蟹淵(1998. 11. 12)、白山市(旧白峰村)大道谷(1999. 7. 10)、白山市(旧鳥越村)渡津(2000. 10.)の3件が確認され、2メッシュ加わり、県内分布は13メッシュとなった。

生態

山間の溪流にすみ、水生昆虫や魚類を食べる。河畔の土中や石の下に巣をつくる。春と秋に2回繁殖し、1～6頭の仔を生む

生息地の条件

主に加賀地域の河川流域。加賀地域の河川源流域や支流域ではもっと生息している可能性がある。

生存の危機

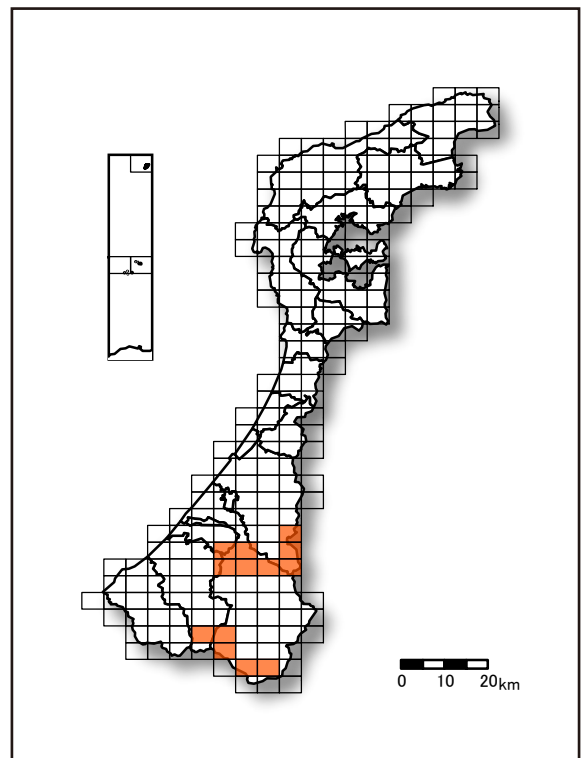
堰堤やダム造成によって本種の生息環境は劣悪になっているので、特に河川上流域の開発行為には留意を要する。(A)

参考文献

阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 2005. 日本の哺乳類. 東海大学.
林哲 1999. カワネズミ 石川県の哺乳類. 石川県出版会.



写真提供者: 林哲



県内の分布